

しばらく「通信」をお休みしていましたが、心新たに発行を再開することにしました。あまり緊張らずに、そのときに頭に浮かんだことを載せていこうと思います。ブツブツと勝手につぶやいていますが、「またそんなことを言って～」と笑いながら、一読いただければありがたいと思います。それでは行間から、「まんまるこ」や「サトシ」の“人となり”を感じていただければ、幸いです。



「まんまるこ」の紹介



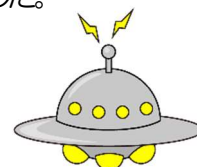
「まんまるこ」は、「サトシ」のパートナー（ツマ）です。
小さいころからUFO大好き人間の「フ・シ・ギちゃん」でした。

小学校教員を卒業とし、特に「特別支援教育」の道を長年歩みました。
その経験が豊富で、知的障がい特別支援学校をはじめ、知的障がい特別支援学級、自閉症・情緒障がい特別支援学級の担任をし、最後は自閉症・情緒障がい通級指導教室を担当しました。子どもへの「読み聞かせ」も人気があったようです。

そのときの子どもたちとの関わりから「ヒーリング（心と体の癒し）」の大切さや効果を知り、「レイキ」という方法や、「お絵描きセラピー」という潜在意識に働きかける方法などを学んできました。今も学び続けていて、その学びを「imacoco」での「笑顔サポート」に生かしています。

最近の「まんまるこ」の推しは、「並木良和さん」と「藤井 風さん」のようです。
話を聞いたり、歌を聞いたりすると、テンションが上がるみたいです。

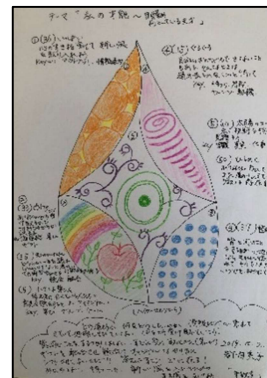
ぜひ、みなさんも「まんまるこ」のおもしろさに触れてみてくださいね。



「お絵描きセラピー体験会」のお知らせ

「まんまるこ」の「お絵描きセラピー」を体験していただく機会を企画しました。
会場を用意していますので、「福島市」にお出でいただける方が対象となります。
お子さんのいるいないに関わらず、関心のある方はどなたでも体験できます。
この機会にぜひご利用ください。（「1枠」に「1名」での「対面型」です）

- ◇日時 ① 令和4年9月24日(土) 10:00 - 12:00
② 令和4年9月25日(日) 10:00 - 12:00
- ◇会場 福島市クリエイティブビジネスサロン ミーティングスペース A
(コラッセ2階)
- ◇料金 2000円(体験会価格)



セラピーでの体験例

【サトシのつぶやき】「“不安”と“怖れ”」

最近思うのだが、誰もの「言動」の陰には、「不安」と「怖れ」が隠れているのではないだろうか。

例えば、「子どものため」と思って進路を心配している親がいるでしょう。あれこれと子どもに口出しをする陰には、実は「子どもの進学した学校で親である自分が評価されるのではないだろうか」とか、「私立に進んだら金銭面で大変になるのではないだろうか」とか、親の「わたし」自身の「不安」や「怖れ」が言動に表れているとも考えられる。

そういう自分も、老後の金銭面での「不安」と「怖れ」が心を惑わせる。「いつ死ぬのか」「どんな病気を患うのか」が分からないのだから、計算のしようがない。計算をしてもすぐ死ぬば、取り越し苦労になってしまう。近い将来に日本で油田が開発されタダで暮らせる、という楽観的な未来もあるかもしれない。

ただ言えることは、自分の「不安」や「怖れ」を「明確」にして、カッコつけずにしっかりと向き合うことだ。そして、「こわい」「おそろしい」と口にしてみることだ。

まずは、そのことが「出発点」となり、わたしの「笑顔」、みんなの「笑顔」へとつながっていくのではないかと考えているのだが、いかかだろうか。

